

職場の教養

2

2026
FEBRUARY

職場の教養

2月号

2026(令和8)年2月1日発行
(毎月14日発行)
発行所 倫理研究所

編集人 三浦貴史
発行人 和田 毅

一般社団法人 倫理研究所
<https://www.rinri-jon.or.jp>

本誌は非売品で、倫理研究所の法人会員に毎月無料で贈呈しています。入会のお申し込み・お問い合わせは、倫理法人会事務局へどうぞ。



令和8年度

倫理経営講演会

テーマ 企業は人なり

—経営者が変われば会社は変わる—

「企業は一将の影」と言われます。およそ事業は、経営者自身の思いや考え、その取り組み全ての結晶、といっても過言ではないでしょう。それは、社員、顧客、取引先等々との関係をはじめ、事業上のあらゆる面に影響を与えます。このように経営を左右するリーダーのあり方の源泉とは何でしょうか。私たち倫理法人会では、それを経営者の人間性にあると捉えます。本講演会では、経営者をはじめ、共に事業を推し進める人たちの「人間力」に着目し、「企業は人なり 一経営者が変われば会社は変わる」のテーマを掲げ、倫理経営の観点から事業繁栄のヒントを提案いたします。

倫理経営講演会は、1月～5月、経営者を対象に全国で開催します。

お問い合わせは各倫理法人会事務局へ(本誌巻末掲載)

所属

氏名

おかげさまで50周年



一般社団法人 倫理研究所

今日の心がけ◆五感を研ぎ澄ませましょう

五感を研ぎ澄ますことで、自然と心の余裕が生まれます。春の訪れを体いっばいに感じながら、今日も仕事に励みたいものです。

仕事に追われ、せわしない日々が続くと、季節の変化にも疎くなりがちです。パソコンやスマートフォン画面を見ることが多い毎日ですが、一週間に一度は周りの景色を見つめてみるとよいでしょう。

じられるという、五感を使って詠まれた名歌です。

この歌は「大空は梅の香りに霞んでいて、曇りきることはない春の夜の月である」という意味です。梅の香りが立ち込め、その香りで空が霞んでいるように感じられるという、五感を使って詠まれた名歌です。

厳しい寒さの中でも、春の気配を感じられることが多くなる二月。周りの景色を見つめてみると、季節の変化を感じられることでしょう。

春を最初に知らせてくれる植物の一つに梅があります。古くから日本では一月から三月までを春とし、梅の花に春の訪れを感じ、それを和歌に詠んできました。

おほぞらは梅のほひに霞みつくもりもはてぬ春の夜の月 藤原定家

今日の心がけ◆一歩一歩進みましょう

予期せぬ困難や試練に直面することもありますが、そんな時こそ、目標に向かって一歩ずつ着実に進む姿勢が、成功への道を切り開く鍵となるのです。

質の高い成果を生み出すことができるのではないのでしょうか。

現代の私たち、仕事や生活の中で、情報や人間関係に振り回されがちです。しかし、時には周囲の雑音を遮断し、目の前の課題に集中する時間を持つことで、

恵方巻を食べるこの習わしは、「願いを込めて一つのことに集中する」象徴ともいえます。無言で食べ切るといふこの行為は、余計な言葉や雑念を排し、目の前のことに心を傾ける姿勢を表わしていると言えるでしょう。

恵方巻は、節分の日とその年の縁起が良い方角を向き、太巻き寿司を無言で一

日本再発見! 一人工島・埋め立て地編

みどり しま
緑の島
(北海道函館市)

函館西部地区の海に面し、面積約8万㎡を有する。函館港整備の際に出た海底の土砂を利用して造られた島で、その名の通り大部分に緑地が広がるほか、イベント広場や遊歩道、時計台のある広場も備え、多くの人が散策や憩いの時間を楽し

んでいる。夏には盆踊りの音が響き、夜空を染める花火が打ち上がる。函館出身のロックバンド・GLAYによる二度の凱旋で沸いた会場でもあり、函館のレジャーやイベントの一大拠点となっている。

★P33にプレゼントコーナーがあります



今日の心がけ◆**節度ある装いで心配りを示しましょう**

華美な装いを控え、清潔感を重視することが、相手への配慮であり、円滑な人間関係を築く基盤となります。

春を迎える身だしなみとして、節度ある装いを意識しましょう。

暦の上では春を迎えつつも、まだ寒さが厳しい二月です。冬用の衣服を身に着け、防寒とおしゃれの両立が楽しめる季節です。服装にはその人の人柄や心遣いが表われますが、社会人にとって冬の装いにもマナーが求められます。江戸時代の「はんてん」や「羽織」は、機能と美しさを兼ね備えた衣服でした。現代では、軽量で暖かなダウンやフリースが普及し、快適な防寒が可能になっています。しかし、職場で求められるのは快適さだけではありません。特にコートやマフラーは、ほこりや毛玉がつきやすいため、手入れを怠らないことが大切です。訪問先での脱ぐ際、乱雑にせず丁寧に扱うことで、信頼感や安心感を与えます。こうした小さな所作が、相手への心配りとして伝わるのです。

さらに、仕事の場では、派手さよりも落ち着いた色合いのコートが望まれます。華美な装いを控え、清潔感を重視することが、相手への配慮であり、円滑な人間関係を築く基盤となります。

「アメリカ建国の父」と称されるベンジャミン・フランクリンは、A案にするかB案にするか迷ったとき、それぞれの案の賛成意見・反対意見を思いつく限り書き出し、賛成意見が多く残っている方を採用することにしていたそうです。

フランクリンが知人に宛てたという、この手紙の話を知ったTさんは、二者択一に迷った場合は、この方法をお手本にするようになりました。

頭の中で考えているだけでは堂々巡りになりがちなことも、書き出して可視化することで頭の整理に役立ちます。また、両案の賛成意見・反対意見を書き出すことで、より客観的に物事を判断できるようになります。

ただし、フランクリンが手紙で述べているように、一口に賛成意見・反対意見といっても、その内容の重要性には大小軽重があります。例えば一つの賛成が二つの反対に相当すると考えられる場合は、この三つを消して調整します。

フランクリンのこの方法だけですべての問題が解決するわけではありませんが、円滑な日常生活を送るために役立つ有効な手段の一つだと言えるでしょう。

今日の心がけ◆**書き出して整理してみよう**

御柱祭では、この島でも神事が行なわれ、湖上を曳航(えいこう)して大きな柱を運び珍しい光景が見られる。普段は立ち入りが制限されているが、イベントやツアーなどで上陸のチャンスもある。

★P33にプレゼントコーナーがあります



日本再発見!—人工島・埋立地編—

はつしま
初島
(長野県諏訪市)

諏訪湖の東岸近くに浮かぶ、直径約29mの人工島だ。歴史は意外と浅く、1954(昭和29)年に諏訪湖上花火大会の打ち上げ場所として造られ、同年には初島神社も建立された。7年に一度、10月下旬に行なわれる諏訪大社の祭礼・

今日の心がけ◆自分自身の行動を振り返りましょう

ベネッセコーポレーションが二〇二四年に小中高生を対象に実施した調査によると、一日の中で読書を「しない」(0分)と答えた割合は五二・七%と半数を超え、二〇一五年の三四・三%から一・五倍に増加しました。

この調査結果は保護者の学ぶ姿勢とも関連しています。「自分の能力を高めるための勉強をすること」が「ある」と答えた保護者の子供ほど、読書をする傾向があるという結果が出ています。

子供に何度も注意しても勉強せず、ゲームに熱中したり、スマートフォンを見ていたりする家庭も多いことでしょう。その際、親である自分自身がスマホばかり見ていないか、また何か目標に向かって努力しているかを省みましよう。

職場においても同様です。部下や後輩の勤務態度に何か問題があった場合、上長や先輩は適切に指導をしなければいけません。それが同時に、自分自身の仕事に対する姿勢を振り返ってみてはいかがでしょうか。

まずは自分を改め、目標に向かって努力を続けていきたいものです。

今日の心がけ◆先人の努力に敬意を払いましょう

A氏が家族と初夏に北海道の富良野を訪れたときのことです。

広大な土地に、色とりどりの花々が咲き誇る景観を前に、国内外から訪れた観光客は笑みを浮かべ、思い思いに写真を撮っていました。その中には、良い写真を残したいあまり、立ち入り禁止のロープを越える人の姿も見られました。

A氏は、明治時代に国の政策で全国から移住し、原野を切り拓いた先人の苦労、そしてこの景観を維持するために関係者が払っている努力を思うと、いたたまれませんでした。

人は誰しも、華やかな表面に目を奪われるものです。その美しさの裏には、多くの人々の知恵と汗、そして長年にわたる努力の積み重ねがあります。

楽しい環境に身を置くと、つい自分の楽しみを優先しがちです。しかし、その場は多くの人の努力や配慮によって成り立っていることを忘れてはいけません。

だからこそ、時には今ある環境を築いた陰の立役者(中心的人物)や先人の働きに思いを馳せ、敬意を表し、大切にすることを育んでいきたいものです。

日本再発見!—人工島・埋め立て地編—

矢橋帰帆島
(滋賀県草津市)

近江八景のひとつとして歌川広重の浮世絵にも描かれた「矢橋の帰帆」。矢橋港は古くから琵琶湖の渡しの名所であり、港跡の西に造られた人工島もそれにちなんで名前が付けられた。現在はキャンプ場やゴルフ場などが整備された矢橋帰帆

島公園があり、市民たちの憩いの場となっている。浮世絵に描かれた往時の姿はとどめていないが、琵琶湖の湖面とその先に比良山系の稜線が浮かぶ風景は、古の舟人たちが見た情景を今も宿しているかのようだ。



今日の心がけ◆見えない工夫に思いを寄せましょう

このことは仕事にも当てはまります。多くの仕事には、外から見ていただけでは分からない苦勞や工夫があるはずです。そうした表面には見えない背景を想像する姿勢が、他者を尊重することにつながるのではないのでしょうか。

簡単であるとは限らないのだと改めて気づいたのです。

この経験を通してAさんは、〈何事も実際に取り組んでみないと、本当の難しさは見えない〉と実感しました。そして、「簡単そうに見えること」が必ずしも簡単であるとは限らないのだと改めて気づいたのです。

見て理解したつもりでも、実際にやってみるとうまくいかないことがあります。Aさんは料理の動画で「ウナギを柔らかく仕上げる方法」を視聴しました。手順が単純で料理をあまりしないAさんにもできそうです。

ところが、実際に試してみると簡単にはいきません。フライパンで蒸した後にオープンへ移す工程では、身が柔らかく熱々のため、移動するのに苦勞しました。さらに、オープンで焼いた後は身がくっついてしまい、きれいに盛り付けることができなかったのです。

日本再発見! -人工島・埋立地地編-

み いけしま
三池島
(福岡県大牟田市)

三池港の沖合に浮かび、円形の無機質な壁に囲まれた姿が異彩を放つ。1970(昭和45)年、海底の三池炭鉱の換気や温度調整を行なうために造成され、立ち入り禁止となった今は、中央部に閉鎖された立坑跡が残るのみ。炭鉱が閉山を迎

Yさんには歳の離れた兄がいます。その兄が結婚して男の子が生まれました。近所に住んでいたYさんは、甥にあたる兄の長男をとっても可愛がっていました。数年後、働き始めたYさんは、毎年、甥の誕生日にプレゼントを贈り、喜ばれていました。それから十数年後、今度はYさんが結婚し、男の子を授かりました。その時、すでに甥は社会人として働き始めていました。

Yさんの長男が一歳の誕生日に、甥は従兄弟にあたるYさんの子供に誕生日プレゼントを贈り、それは毎年の恒例となりました。Yさんの長男が三歳になった時、長男は甥に何度も「ありがとう」と嬉しそうに伝えました。

Yさんからお礼を述べると、甥は「叔父さんにはお世話になったからね。こちらこそ、いつもありがとう」と笑顔で答えてくれたのでした。

Yさんはその笑顔を見て、甥が幼かった頃、笑顔で「ありがとう」と言ってくれた姿を思い出し、温かな気持ちに包まれました。甥の笑顔を見ながら、これからも感謝の気持ちを声に出して周囲の人に伝えていこうと思ったのでした。

今日の心がけ◆「ありがとう」の輪を広げましょう

えるころ、絶滅危惧Ⅱ類のベニアジサシが繁殖していることが確認された。以来、保護活動が続けられ、北限の繁殖地として命を育む場となっている。役目を終えた島は、今新たに生命のゆりかごとなったのだ。

